

3. 教員スタッフ

昭和61年度の卒業研究担当者とそれぞれの指導範囲は表1のとおりであります。

これまでに、かつてこの学科に所属されていた教員には、下記のかたがたがおられます。

湯浅光朝、武隈良一、岡崎文次、大熊 正(故人)、大河内正陽、鳩山由起夫

退職教員の補充、学科の教育・研究の充実のために、専任教員の公募が行なわれてきましたが、62年度にも専任教員の公募があることでしょう。

4. 関連機関「情報科学センター」の紹介

本学では、文部省の補助金を受けて、コンピュータ・システムを導入、技術進歩に合わせ、教育・研究上の利用方法を考慮しながら、何回か更新してきました。コンピュータの利用が全学的に広まることに対応して、「教育指導室」「センター事務課」と、既存の「情報科学研究所」を統合して、昭和60年に「情報科学センター」を発足させました。各学部の正課の教育支援施設として機能し、またセンター独自の教育活動も行なっています。

研究面では、情報科学分野の研究に関係する全学の教員の研究支援機関として機能しています。(坂本 実)

表 1

担 当 者	指 導 範 囲
伊 東 洋 三	ゲームの理論、数量経済分析
今 居 謙 吾	需要構造の解析・予測および経営計画の立案
瓜 生 等	微分方程式および差分方程式の応用、数値計算
岡 祐 紀	ソフトウェア工学
奥 田 和 彦	消費者行動の計量的研究
韓 豊太郎	情報のデータ構造
蔵 下 勝 行	経済予測
斎 藤 雄 志	エネルギー経済とモデル分析
坂 本 実	オペレーションズ・リサーチ
崎 野 滋 樹	多変量解析の基礎理論と自然科学、社会科学領域への応用
佐 藤 創	データ圧縮と統計的予測
高 津 信 三	経営工学・経営システム工学
竹 村 憲 郎	経営情報システム、OAシステムの開発
内 藤 豊 昭	コンピュータの各種問題への適用
林 勲	EDPシステムの分析と設計
森 克 美	ORモデルのコンピュータによる分析
本 江 涉	経営管理システムの設計、経営分析

日本大学 生産工学部 —千葉のOR基地をめざして！

1. 日本大学の理工系学部

日本大学全体の概要を紹介するには、組織が余りにも大規模なためにOR学会に「日本大学特集号」をお願いすることになるので、わが生産工学部ORチーム(推定約4名)が一致団結した結果、ここでは日本大学の概略と理工系3学部の存在を会員の皆様にご存知いただく機会を持ちたいと思います。さらに、理工系3学部の中でもユニークな存在である生産工学部を中心としたOR教育・研究活動の一環を紹介したいと思います。

日本大学は明治22年(1889)に創立され、現在ではわが国最大の総合大学となり、大学院14研究科、大学専攻1科をはじめ、法・文・理・経済・商・芸術・国際関係・医・歯・松戸歯・農獣医と理工系3学部と言われる理工・生産・工の13学部、通信教育部4学部、短期大学部

7科、さらに原子力研究所、司法研究所、総合科学研究所、教育制度研究所、国際研究所等研究所・実験所35カ所など、多数の研究機関と付属高校をもつ大きな規模であると大学案内に記されてあります。

理工学部(東京神田 駿河台校舎、千葉県習志野市 習志野校舎)、生産工学部(千葉県習志野市 大久保校舎、同実研校舎)、工学部(福島県郡山市)が理工系3学部と言われ、それぞれが特色をもった学部として日本大学の一翼を担っています。

2. 生産工学部とOR

生産工学部の特色の1つは、基礎理論の学習に並行して、生産現場における実習を体験させることにより、理論と生産技術との密接な関連性を身をもって修得するために全学科とも3年次の必修科目として生産実習を義務

づけていることです。

生産工学部には一般教育の他に、機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築工学科、工業化学科、管理工学科、数理工学科があります。大学院生産工学研究科には、それぞれの学科に応じた博士前・後期課程も置かれています。教職員390人、学生数6600人とその規模も工学部としては大きい。ちなみに日本大学全体で学部科学生数約8万、教職員数約7700、校友は実に57万5千余名であることを紹介しておきます。

生産工学部におけるOR教育は、管理工学科（3年次）、数理工学科（2年次）に選択科目として設けられています。生産工学部の特色を考えますと少々寂しい思いがいたします。他に、機械工学科、電気工学科、工業化学科等に生産工学あるいはシステム工学が選択科目として設けられておりますので、OR教育を広義に解釈すれ

ば盛んであるとも考えられます。

そこで、理論に終始することなくORマインドを基本とした使えるORをめざした教育が大切かと思います。近年、技術革新が急速に進む中で、生産工学の動向を考えると断片的な問題解決には無理があり、総合的かつ計画的な解決策を模索するORマインドを持ったORワーカーの育成が本学部でも必然的に求められるとともに、体系的に組織された広義のOR教育の必要性が増すことを期待しています。

ORの研究活動もOR教育の向上とともにORチームの定員増と質の向上のためなお一層の努力を重ね、千葉県下の他大学、お隣りにある兄弟学部の理工学部、隣接している京葉工業地帯にある企業とともに“千葉のOR基地”構築を大きな目標としてがんばってゆきたいとします。

（菅沢 喜男）

●ミニミニ●

●OR●

計算ばかりが能じゃない

今は昔、デジタル時計なんかまだなかった時代の話である。ある入社試験に「3時と4時の間で、時計の短針と長針が重なるのはいつ？」という問題が出たそう。面接のとき「できたか？」と聞かれて「できませんでした。」と答えた受験生に試験官のいわく、「君、腕時計はしていたんだらう？ なぜ針をまわしてみなかったんだい？」

幅 x 、長さ y 、高さ z の箱がある。この箱の対角線、つまり図のOPの長さが求めたい。答えは無論 $\sqrt{x^2+y^2+z^2}$ だが、そんな計算はしなくても、紙の上に箱の底の輪郭をなぞり、幅の分だけ箱をずらして、点Oがあった点O'と頂点Qの距離を測ればよい。

計算ばかりが能じゃない。

（からくり堂主人）

